

次の例会は美味しい 楽しい 4年連続大好評

第234回例会 神戸でクック&テイスト NZ ラム&ビーフ

Cook and Taste NZ lamb & beef in Kobe

日時:5月12日(土)10:30~13:45

場所:こうべ市民福祉交流センター 調理室

「三ノ宮」駅より徒歩15分/
 ポートライナー「貿易センター前」から徒歩5分
 市バス7系統「市民福祉交流センター前」正面

プログラム (予定):

- 10時00分 受付開始
- 10時30分 班に分かれて調理開始
- 11時45分 試食タイム
- 13時00分 あとかたつけ

例会費:2,000円(当日お支払ください)

飲みもの:BYO(各自ご持参ください)

当日の連絡先:090 1952 9370 呉橋携帯

お申込最終締切5月7日(月)までに事務局へ。

エプロンご持参ください。



定番 ラムのロースト。旨い!



和風みそ味 香菜焼



デザートはもちろんパブロボ
 今年も特命チームが。

6月の臨時例会ご案内

昨年9月、米原市の北東にオープンした体験型観光農園「ローザンベリー—和多田」を訪れます。東京ドームの3倍の敷地に羊の放牧場・農園・庭・レストラン・NZなどの特産品の店などがあります。お昼は、バーベキューをします。NZワインが楽しめます。

とき:6月9日(土)雨天決行 定員:18名(先着順)

参加費:2400円(入園料・昼食) (交通費や飲み物代は各自別途)

詳細は2ページの6月臨時例会の案内記事をご覧ください。

事務局:〒530-0028 大阪市北区万歳町3-41 城野ビル201

電話:(06) 6367 1773 FAX:(06) 6367 1793 makltd@d1.dion.ne.jp

ホームページ <http://nzsocietykansai.com/>

2012 年度のご挨拶

会長 呉橋真人

2011 年度は皆様のご協力と激励に感謝いたします。同封の総会報告をご一読いただけますようお願い申し上げます。

2012 年度は、ニュージーランドとの国交回復 60 周年にあたり、本協会としては伊吹のオークランド War Memorial 博物館展示の実現に向かって活動をするを考えています。

恒例のラム&ビーフ調理例会とクリスマス例会の他、昨年太津さんの広大な柿農園での柿狩りが好評でしたので今年もお願いすることになります。

5 年後、10 年後の協会の活動をイメージして、特にこの協会ならではの特徴あるかつ建設的な事業のご提案、そして随時会報に掲載する皆様のご投稿をお待ちしております。

年会費郵便振替用紙同封の件

年会費 3000 円(一世帯あたり)を 5 月末日までにご送金いただけますようお願い申し上げます。振替用紙のメッセージ欄に近況、協会に対するご要望等ご自由にお書き下さい

2012 年度例会カレンダー

| 日時 | 場所 | 内容 |
|-----------------------------------------|--------------------------|---------------------------------------------------|
| 233 回例会 5/12(土) 10:30 開始 | こうべ市民 福祉交流 センター | NZ ラム&ビーフ調理と試 食例会。会費 2,000 円 |
| 臨時例会 6/9(土) 10 時 30 分 現地集合 | ローザンベリー 一和多田 | バーベキュー&体験型観 光農園の散策 |
| 234 回例会 9/8(土) | N Z 国交開 設 60 周年 行事 | 第 1 回 ANZAC を護衛し た巡洋艦伊吹について講 演会 |
| 235 回例会 11/17(土) 09:30 大阪 梅田集合 | 梅田から 小型バス (29人乗) | 太津さんの果樹園で柿狩 りと散策観光。 昼食と柿代 2,000 円 バス代を割勘 |
| 236 回例会 12/22(土) | 神戸外国 倶楽部 | クリスマス会 6,000 円 |
| 237 回例会 2/16(土) | 丹波 「いわや」 | 丹波のぼたんなべと、篠 山散策 |

6 月の臨時例会ご案内

昨年 9 月、米原市の北東にオープンした体験型観光農園「ローザンベリー和多田」を訪れます。

大沢ホールディングス(NZでワイナリー経営等)が運営しており、東京ドームの3倍の敷地に羊の放牧場・農園・庭・レストラン・NZなどの特産品の店などがあり人気が高いようです。園内には無料の巡回バスも走っています。お昼は、バーベキューをします。準備は先方に任せていますが、調理は参加者でワイワイガヤガヤと。ご参加をお待ちしています。お酒も飲めますが、ドライバーはご遠慮ください。訪問先の

詳細は、同所のHP (<http://www.rb-tawada.com/>) をご参照ください。

と き:6 月 9 日(土)雨天決行 定員:18 名 (先着順)
10 時 30 分 現地団体受付集合

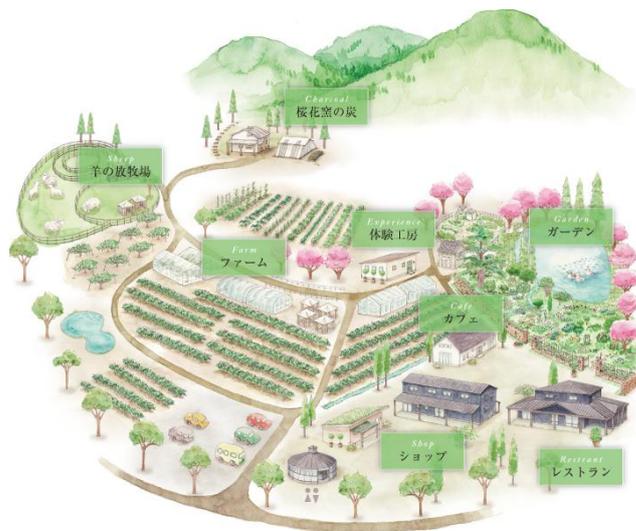
ところ:ローザンベリー和多田 米原市和多田605-10
電話:0749-54-2323

交通機関:JR米原駅からタクシーで 15分・2400 円程度
自家用車の場合: 名神米原ICから 15 分程度

お薦め交通手段 :JR 新快速を利用
大阪駅 8 時 30 分発 米原駅着 9 時 55 分
米原駅で待ち合わせて タクシー分乗
大阪から米原まで片道 1890 円

参加費:2400 円(入園・食事込み)
6 月 6 日以降のキャンセルの場合、1500 円のキャンセル費が発生します。

申込み:メール・電話で事務局へ 5 月 25 日までに。定員オーバーでお断りの場合のみ連絡いたします。利用交通機関(JR・マイカーなど)をお知らせください。



第 232 回例会「総会」と懇親会報告

第 232 回例会「総会」が中央電気倶楽部・会員特別食堂で行われました。

総会は、佐藤慎平さんを議長に選出した後、2011 年度事業報告、会計報告、監査報告が行われました。続いて、2012 年度事業計画、予算案が説明され、何れも承認されました。呉橋さんより理事就任にあたり、オークランド War Memorial 博物館での巡洋艦伊吹の展示実現を本協会のこの 2 年間の目標としたい旨説明があった。

一連の報告の後、長年当協会の発展に尽くして下さった柳田名誉会長への感謝状の贈呈がおこなわれました。

柳田様には川瀬勇追想遺稿集出版委員会を取りまとめ頂き、大変なご苦勞の末、「ニュージーランドに魅せられて」が成功裡に刊行されました。また、2005 年、本協会は組織

運営に支障をきたし、混乱、混迷の事態に立ち至りましたが、柳田様を中心とする有志一同の尽力で事態が收拾されました。

2006年度からは2期会長を務めていただき、運営委員会の融和、例会の多様化、ルールの整備を行い、当協会の未来への礎を築いていただきました。

総会では以下の議論が行われました。

第1次大戦のとき、ニュージーランド・オーストラリア軍（ANZAC）の輸送船の護衛をした大日本帝国海軍巡洋艦「伊吹」の模型がテパパ博物館の倉庫に眠っている。この模型は日本政府からニュージーランド政府に寄贈されたもので、きわめて精緻に作られている。当協会としては、この模型をオークランドの War Memorial 博物館へ移し、100年前の日本とニュージーランドとの友好関係を象徴する「伊吹」を常時展示してもらえよう活動することになった。日本とニュージーランドの人々に改めて両国には長い友好関係があったことを知っていただき、今後のさらなる友好関係構築の促進を目指す。

戦争と言う微妙なテーマを扱う事になり注意が必要と言う意見があったが、活動方針としては了承された。

会員を増やす一層の努力が必要との指摘があった。アンザックデーに英語のチラシを用意して配布する計画でおり、このような機会を通じて当会をPRしてゆく。（後日、お一人の入会申し込みがありました）

NZ人には無料にするようなことを考えてメンバーにNZ人を加えてはどうかという提案があった。

総会後は早めのディナーをいただきました。ワインは石井さんが用意してくれました。

2012年度は、「ビーフ&ラム」、「ワインとBBQ パーティー」、「柿狩り」、「クリスマス」、「丹波のぼたん鍋の会」など盛りだくさんの例会が予定されています。今年度も多くの皆様に参加され、親睦を深め、楽しい有意義な時間を過ごしたいと思います。（総会資料を別冊で添付しております）

参加者：総会 16名、懇親会 16名

| 収入 | | 支出 | |
|--------------|-------|-----|-------|
| 例会費 | 72000 | 会場費 | 2600 |
| | | 食事 | 65516 |
| | | コピー | 800 |
| 合計 | 72000 | 合計 | 68916 |
| 3084 円の黒字でした | | | |

尚、桑原様、石井様より絵ハガキ販売、ワイン販売の収益のご寄付をいただきました。

出席者（五十音順、敬称略）石井久行、加藤進（懇親会のみ）、貴志康弘、呉橋真人、桑原耕治、佐藤慎平（総会のみ）、太津隆司（総会のみ）、永田美夜子、西川賢一、

林園子、埴幸子、藤村琇子、正木紀通、松元昇、三浦治郎、柳田勘次、山内龍男（懇親会のみ）、山田輝子

神戸外国倶楽部 ANZAC DAY PARTY 報告

永田美夜子

4月21日（土）クリスマス例会でお世話になっている神戸外国倶楽部さんからご案内を頂き、Party に行き参りました。協会の参加者は、柳田、松元、貴志、山田、埴、林、小林、永田（敬称略）の8名でした。新規会員、特にNZ人獲得を目標とした参加で、英語と日本語の協会案内を受付で配りました。ANZAC DAY にふさわしく、有志の手作りだと思われる ANZAC クッキーが販売され、NZ、オーストラリアの国旗や観光ポスターで飾り付けられたおなじみの会場は、赤白チェックのクロスがかかったテーブルがずらりと並んで、クリスマス例会とは全く違う雰囲気でした。出席者は外国人、日本人合わせて100名を超えていたのではないかと思います。国際結婚カップルも多く見受けられました。

まずはバーで飲物を買ってグラス片手に歓談、19時半頃オーストラリア領事のあいさつで party は始まりました。貴志さんは挨拶される方だと知らないまま協会案内を渡し、名前を尋ねられたそうです。あいさつなかばで「今晚は日豪協会の〇〇氏と、NZ協会の貴志氏もご出席です」と紹介して下さいました。

バイキングのメニューにはもちろんラムとパブロヴァが。私たちはこっそり「うちの料理例会の方が美味しい」と囁きあっていました。隣合わせたチャームングなご夫婦やわざわざテーブルまで入会について質問にきて下さった方など、日本人の勧誘はまずまずの成功だったのですが…NZ人の出席者がいたのやら、正直いって疑問です。なぜなら、オーストラリア領事が挨拶し、ビールもオーストラリア産のみ、クイズの設定はほとんどオーストラリアに関するもの（35問中5問しか正解しなかった）、景品は全てオーストラリアのもの、司会やクイズなどマイクを通じて聞こえてくるのはオーストラリア英語ばかりだったからです。ラム例会に誘っても返事は「自分はオーストラリア人だから」。国籍関係ありません！楽しくラム料理一緒にしましょう！と言っても、微妙な感じです。NZ人です、という方には一人もお会いしませんでした。圧倒的にオーストラリア人の方が日本で働いている、ということなのでしょう。私にとって少なからず衝撃の事実でした。

司会、進行は全てオーストラリア英語で行われ、NZアクセントに馴れた我々は半分も理解できないまま、ゆるゆると進行したパーティーは、豪華景品のラッフルくじ抽選が始まったのが終了予定時間の22時でした。このあとダンスが予定されていますが、電車の時間を気にした私たちは22時半に辞去。ああ、私のくじ、ヒルトンのディナー付き宿泊券当たっていたらどうしよう！？と無駄な心配をしながら帰宅しました。





～～～～～ 会員からの便り ～～～～～

クライストチャーチの現状

片波見徳将

先週水曜日から休みを利用してクライストチャーチへ行ってきました。私にとってクライストチャーチは特別な場所なので、現在のクライストチャーチを見ずに NZ での生活はスタートできないと思い地震後初めて行ってきました。

City Centre は依然封鎖され、ビルなどの建物が大分解体されてきているようです。一目見た感じでは地震によって倒壊したのか、解体途中なのか分からないと言った感じです。

大聖堂等の歴史的建造物はことごとく地震によって大きな被害がでています。また、サムナーの方へ行くと崖崩れが激しく、崖の上の家が落ちていたり、土砂を防ぐ為にコンテナが並べられていました。特にレドクリフと言う所は崖崩れや道路が歪んだり被害が大きく出ているようです。

しかし、色々な人に話を聞くと皆さんポジティブで心からクライストチャーチを愛しているのが伝わってきます。どの方も「街が地震によって破壊されてしまった事はとても悲しいけれど、今までも時代と共に街は変化してきたから、必ず以前よりも美しいクライストチャーチを作るよ。」と言っていたのが印象的でした。私自身も建物は無くなってしまったけれど、美しい自然や公園は以前と変わりなく、また人々の温かさに接する事もでき、改めてクライストチャーチの良さを実感する事が出来ました。

クライストチャーチで撮った写真を何枚か添付いたします。これからも NZ から情報を発信できればと思っています。



編者注：この写真は倒壊したクライストチャーチ大聖堂の尖塔の一部。2月21日からカンタベリー博物館で始まった Canterbury Quakes 展で展示されている。この特別展は昨年9月ようやく再開した博物館スタッフが強い使命感のもとに実現した。期間は6ヶ月間。その後は NZ 各地を巡回する。



アーツセンター（旧カンタベリー大学）



レドクリフの崩壊した家屋

箕面市民訪問団 4年ぶりにハット市へ

佐藤 徹

私は本協会の会員であると共に、箕面市ハット市友好クラブの会員です。このクラブは、私が住んでいる大阪府箕面市と NZ ハット市 (Lower Hutt) との姉妹都市 (国際協力都市と呼ばれている) 交流を市民主体に進めている団体です。本協会のような純粋な民間団体とは異なり、行政との連携が前提になっています。

本年1月末から2月初めにかけて、当クラブ主催の市民訪問団がハット市を訪問しましたので、概略をご紹介します。

機中2泊を含む10日間の旅でしたが、前回2008年と同様、前半はハット市に滞在して市民との交流を深め、後半は NZ 観光(今回は北島)を楽しみました。総勢19名の中には倉田市長・森田教育長も含まれ、箕面市長のハット市訪問は約10年振りとなります。滞在一日目、一行はマオリの伝統的な儀式(ポウヒリ)に従いウォラス市長以下の心温まる歓迎を受け、両市長は今後の交流につき有意義な意見交換を行いました。二日目はハット市内観光などを行い、夕方には友好ハウスで開かれたハット市主催の歓迎パーティに臨み、ホストファミリーと共にバーベキューを楽しみました。三日目は現地の市民で構成される箕面クラブの協力を得て、友好ハウスで日本文化紹介のイベントを開催しました。訪問

日本ニュージーランド協会（関西）

団のメンバーが紙芝居・折り紙・書道・人形制作・お茶などを披露しましたが、150名余りのハット市民が訪れ、大変な賑わいでした。本年は日本とNZとの国交回復60周年ということで、ウェリントンの三田村大使も駆けつけ挨拶をされました。

四日目早朝に市長一行は帰国しましたが、残り14名は終日首都ウェリントン観光を行い、五日目からは観光バスで北島の名所を巡りました。ワイナリーでの昼食とアール・デコ街並見学（ネーピア泊）、タウポ湖からのフカ滝、羊ショー、温泉露天風呂、マオリの伝統料理とダンス（ロトルア泊）、ワイトモ鍾乳洞と土ボタル（オークランド泊）、カウリ博物館、カウリの森、巨木タネマフタ（森の神）、と続き、夜行便で帰国しました。

2000年以降、当クラブ主催の市民訪問団としては三回目になりますが、今回も行政や外郭団体のサポートに頼らず、当クラブと現地の箕面クラブとが企画した市民主体の交流でした。NZと日本との交流にはいろいろな形があつていいと思いますが、姉妹都市という枠組で行われる交流も大切な一環だと考えています。

なお、今回のツアーの航空券手配や観光のアレンジは呉橋会長のマック(株)にお願いしました。また、文中にある友好ハウスとは、両市の交流の拠点としてハット市を見渡す丘の中腹に99年に開設された瀟洒な邸宅（歴史的建造物）で、その改築に当たっては箕面市側からも約3千万円の基金が提供されました。現在では地域の日本文化センターとしてすっかり定着しています。

日本ニュージーランド協会（関西）の皆様へ

カンタベリー日本人会会長 萱場雅子

初めまして。この度は貴会の石井様よりご連絡をいただき、皆様のニュースレターにカンタベリー・ジャパン・ディの報告を掲載させていただく機会を頂戴いたしました。当会、カンタベリー日本人会は2012年で20周年を迎えます。2010年12月には貴会は40周年を迎えられたとのことで、比べると非常に歴史の浅い日本人会ではありますが、当初はゴルフをしているメンバーの親睦会から発足され、現在では会員数が356家族という大きなSocietyとなりました。

2012年はニュージーランドと日本の国交60周年も迎え、これらを記念して、また、昨年2月22日のクライストチャーチ大地震、3月11日の東日本大震災から一年が経過して、両国において志半ばで亡くなられた方々の追悼と、クライストチャーチに住む日本人だけでなく、NZ人や多国籍の人々との復興の誓いのために、カンタベリー・ジャパン・ディと名を売って日本のお祭りを今年3月11日に行いました。（オークランド日本人会様はジャパンディを開催し今年で11年目になります。その知識を惜しみなく提供していただき、またカンタベリー・ジャパン・ディというお名前も暖簾わけのような形で使わせていただきました。）

開催場所はクライストチャーチの中心より北西、リカトンパークで、隣にはクライストチャーチでは有名なリカトン日曜マ

ーケットが催される所です。当日は早朝雨、終日曇り空という天候ではありましたが、恐らく10000人以上の人々が入場してくださったと言われ、お蔭様で予想以上の成功裏に終わりました。

この機会に、たくさんの方々に日本の伝統文化（桑原専慶流の皆さんが倉敷からお越しいただき生け花を披露、筆の町広島県熊野町のご協力をいただき筆、絵手紙の展示、地元日本人とCashmere高校生有志による書道のデモンストレーション、広島市のご協力による千羽鶴の展示及び折り紙のデモンストレーション、お茶会、合気道、剣道、お琴演奏、着物ショー、日本舞踊、和太鼓演奏、日本の歌合唱、帯舞、餅つきなど）や新しい文化（コスプレ大会、アニメカフェなど）を紹介することが出来ました。



少年の姿勢がいい



お茶と和菓子は5ドル(約300円)で大行列



武道はNZで人気があります

この度はカンタベリー・ジャパン・ディを開催するにあたり、2009年にニュージーランドに会社を設立されましたDaikenNZ様（本社が大阪の大建工業株式会社、伊藤忠商事の合弁会社）を初め、多くの現地の会社やお店にスポン

サーになっていただきました。お蔭様で赤白提灯、日本祭りの旗、法被、団扇等を日本から輸入し、日本の屋台を思わせるテントを購入して並べ、素晴らしい日本のお祭りを少し再現でき、地元の皆さんに見ていただけたと思っております。（屋台出店者(30件)舞台出演者(18件、着物帯舞の方も日本から参加してくださいました)）

毎年このイベントを開催したいと現在検討中ですので、機会がありましたら、是非、皆さんもカンタベリー・ジャパン・デイにお越しいただき、持ち芸をクライストチャーチの方に披露していただけたらと思います。

最後になりましたが、秋晴れのクライストチャーチより、貴会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げ、カンタベリー・ジャパン・デイ報告とさせていただきます。

Taste of NZ と・・・

石井久行

3月末に所用で東京へ行くことがあり、予てから一度訪れてみたかった東麻布のレストラン「ワカヌイ」へお昼に行きました。2100 円のランチとビールを注文しました。ここは ANZCO グループ(ニュージーランド・オーストラリア産食肉の輸入業者で以前はNZの国策企業で現在は民間)のアンテナ・ショップとして昨年 4 月にオープンした人気のあるお店です。

屋号はマオリ語でワカは小舟・ヌイは肥沃な大地という意味だと教えてもらいました。港区の大使館銀座にあるため外国人の利用者や麻布近辺の年配者の姿(雑誌などに登場する芸術家も美人と、名前は思い出せませんでした)も見かけました。スノッパな感じの雰囲気は関西には少ないので観察にも面白いです。イケメンのウェ이터のキビキビした動きも目を楽ませてくれます。当協会に縁の深いハンドルビーさんをはじめキーウイもよく来ているそうです。「日本のビーフ、仔羊肉の価値観を変える」がコンセプトらしいです。備長炭で焼かれたお肉の味は満足のゆくものでした。ワインはNZの珍しいブティックワインが楽しめるのですが、グラス(赤)で 1000 円からでした。“Great selection of steaks, lamb and hot smoked salmon. Wakanui is a show place for NZ fresh foods.”と誰かが書いていました。詳細は下手に私が説明するよりお店のHPをご覧ください。電話:03-3568-3466

会員の皆さんにお勧めできるお店をもう1店ご紹介します。それは、六番町にあるセルバンテス文化センターの 7 階にある「メゾン・セルバンテス」です。こちらは建物全体がラテンの雰囲気で溢れていて本場の味が堪能できます。電話:03-5210-2990

2店とも予約が必要です。

クライストチャーチ大聖堂を記憶にとどめる活動

藤村瑠子

西宮ユネスコ主催の第27回ユネスコ世界児童画展が3月13日から18日まで西宮市立市民ギャラリーで行われました。毎年クライストチャーチから児童画が送られてきますが、今年は取り壊しが決まった在りし日の大聖堂のプリント絵58枚が届きました。裏表紙に子供たちが書いたすばらしい絵のいくつかを紹介します。この児童画交流の最初のきっかけは日本ニュージーランド協会(関西)が取り持ちました。

新入会員の紹介

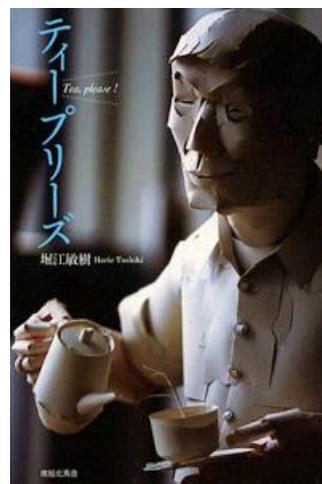
畑 彩子さんがユース会員として入会されましたので紹介します。4月21日のアンザックデイパーティーで、ニュージーランド協会(関西)を知り、ご入会下さいました。

お知らせ

当協会員の堀江敏樹さんが「ティー プリーズ」という本を出版なさったのでお知らせします。紅茶に関する深い知識と経験から日本の紅茶事情にモノ申す内容です。発行は南船北馬舎で、945 円です。全国の書店でお求めいただけます。堀江さんは、大阪・堂島にムジカという紅茶専門店を営まれており、紅茶に関する沢山の著書があります。

【目次】

- ティーポットをご用意ください
- オレンジ・ペコってなに？
- ブレンドの妙
- ペットボトル恐怖症
- ティーバッグはえらい
- 水道水でいいのです
- 渋みのわかるシブい人
- 過激な化粧
- ひねもすモーニングティー
- 毎日が「紅茶の日」
- 「紅茶」の読まれ方
- 番茶の心意気
- ペットボトルと哺乳びん
- 超高層住宅と紅茶の関係





NZ ニュース クリップング

NZ 全土でマーマイト争奪戦

マーマイトはトーストなどに塗って食べる塩辛い味の黒っぽいペースト。メーカーのサニタリウム社は19日、在庫が底を突き、製造を再開できるのは早くても7月になる見通しだと発表した。この発表を受け、ニュージーランド全土のスーパーマーケットでマーマイト争奪戦などの混乱が伝えられている。

インターネットのオークションサイトでは、1瓶当たり最高で60ニュージーランド・ドル(約4000円)という高値が付く一方、パッケージ当たり799ドルの値段を付けたり、使いかけの商品を出品する売り手も現れた。



マーマイト 200ml スクイージータイプ

一方、スーパーマーケットチェーンのカウントダウンでは、あと2~3週間は通常の販売を続けられるだけの在庫があると説明。

今のところ目立った買い占めなどの動きはなく、購入制限に踏み切る予定もないとしている。

マーマイトの原料はビール精製時に沈殿した酵母。塩辛い酒粕みたいなもの。食べ方はパンにバターを塗ってその上にマーマイトを広げる。イギリスやオーストラリア、ニュージーランドでは国民食だけどもあまりに特殊な味なので他の国ではまったく流行ってない。(編者注:NZの朝食では、ジャムなどと一緒にマーマイト(あるいはヴェジマイト)が供されることが多いです。見かけはチョコレートのような感じです。チョコレートと思ってトーストに塗って苦い思いをされた方も多いのではないのでしょうか?)

4月20日 AFP

「うつ病治療ゲーム」にカウンセリングと同効果、ニュージーランド研究

ニュージーランド、オークランド大学(University of Auckland)のサリー・メリー(Sally Merry)准教授率いる研究

チームは、うつ病と診断された平均年齢 15.5 歳の子どもたち 94 人を対象に、ファンタジーを題材とした 3D ゲーム「SPARX」の効果調べる実験を行った。

SPARXは4~7週間かけて7つの課題に挑戦するゲームで、その過程でプレイヤーは怒りや傷心への対処方法と、否定的思考をいかに前向きな気持ちへと変えていくかを学んでいく。

3か月間このゲームで遊んでもらった後に、うつ病の程度を複数の指標を用いて測ったところ、少なくとも対面式カウンセリングと同程度の効果があることが判明した。さらに、7つの挑戦のうち4つ以上を完了した子どもの44%が、うつ病を完全に克服した。一方、従来の治療法を続けたグループでは、完治率は26%だった。

論文は、ゲームによって「うつ症状や不安、絶望感が減少することが臨床的に有意なレベルで確認され、生活の質が向上した」と結論付けている。なお、被験者の80%が他の人にもこのゲームを勧めたいと答えたが、従来の治療も同じくらい高い割合の支持を得ている。

2012年04月20日

地震でアジア人に対する親近感アップ ～アジアと言うと中国と日本

(オークランド=聯合ニュース)ニュージーランド人は昨年開かれたラグビー・ワールドカップおよびニュージーランドと日本で各々発生した地震で悲劇を共有することになり、アジア人について以前より少し暖かい感情を持つようになったことが分かった。

アジア、ニュージーランド財団が14日公開した調査報告書によればニュージーランド人のアジア移民者に対する否定的な感情が減った。去年9月から10月の間に1千人以上のニュージーランド人を対象に実施した今回の調査でアジア人に対する感情が以前より少し暖かくなったと答えた人は21%を越え、アジア人がニュージーランド社会に大きく寄与しているとする回答者は5人中4人の割合だった。また、アジア地域がニュージーランドの未来に重要または大変重要と答えた人は83%で史上最高を記録した。

毎年実施される今回の調査ではこの他にアジア移民者が働き口を奪っていると考える比率が前回調査時の29%から25%に、アジア人がニュージーランド主流社会とあまり合わないと思う人は40%から35%に各々減ったことが分かった。アジア人の友人がいるという回答者もずっと増えて前回調査時65%から今回は72%、地域で開かれるアジア人行事に参加するという回答者も28%から33%に増加した。

調査報告書は「アジア人に対する感情がもう少し暖かくなったと明らかにした人々の17%はアジアで起きた自然災害のため、そこから来た人々に同情心を持つようになったと答えた」として「これは日本で起きた地震が何より大きな役割を果たし、クライストチャーチ地震の時、アジア諸国から受けた援助も影響を及ぼしたと見られる」と分析した。

報告書はまた、ラグビー・ワールドカップがニュージーランドの国際的地位を高めることによって全般的に未来を楽観的に見ることができるよう助けになったようだ」と評価した。調査では特に中国、日本、インドから来た人々に対する感情を0(非常に冷たくて非友好的)から100(非常に暖かくて友好的)の間の数値で評価して欲しいと求め、日本は前回調査の時の73から今回は76に上昇したが、中国とインドは各々70と69で前回調査と変わらなかった。

ニュージーランド人はしかしアジアについて考える時、大部分、中国と日本を頭に浮かべることが明らかになり、シンガポール、フィリピン、マレーシア、タイなどが会員国になっているアセアンについて知っている人は殆どいないことが明らかになった。

今回の調査結果についてアジア、ニュージーランド財団のフィリップ・バードン理事長は「アジア移民者がこの国に大きく寄与しているという回答者が5人中4人の割合であることが明らかになったことはかなり勇気づけられることだ」としながら「しかし、今後も難題はたくさん残っている」と話した。

ニュージーランド地震:日本人設計で仮設大聖堂建設へ



ニュージーランド・クライストチャーチの仮設大聖堂の完成予想図

日本人28人を含む185人が犠牲となった昨年2月のニュージーランド地震で大きく損傷した被災地クライストチャーチの大聖堂は16日、日本人建築家、坂茂氏の設計による紙製パイプを用いた仮設大聖堂の建設計画を発表した。「希望の象徴」として年内の完成を目指す。

建設地は、日本人28人を含む多数が犠牲となったカンタベリーテレビ(CTV)ビル倒壊跡地のすぐ近く。仮設大聖堂は当初、地震発生から1年となる今年2月の完成を目指していたが、敷地の選定に時間がかかり、ずれ込んでいた。

(共同)毎日新聞 2012年04月16日

2012年の「ミスター・ゲイ・ワールド」はニュージーランド代表

南アフリカのヨハネスブルク(Johannesburg)で8日、「ミスター・ゲイ・ワールド(Mr Gay World)」2012年大会の決勝、グランドフィナーレが開かれた。決勝に進出した世界各国代表25人の中から、ニュージーランド代表のアンドレアス・ダ

ーレス(Andreas Derleth)さん(32)が2012年ミスター・ゲイ・ワールドの栄冠に輝いた。



写真はコンテストに臨むダーレスさん

2012年04月10日

NZ地震で脚切断 奥田建人さん 富山市職員に

昨年2月のニュージーランド地震で、ビルの倒壊現場から右脚を切断する処置を受け救出された奥田建人さん(20)が富山外国語専門学校を卒業、富山市職員として採用され、2日の辞令交付式に出席した。



森雅志市長(左)から辞令を受け取る奥田建人さん

地震ではCTVビルの倒壊に巻き込まれ、語学研修中だった同校の生徒ら日本人28人が犠牲となった。奥田さんは一命を取り留め、がれきの中から救出された。

義足のリハビリを乗り越えて職員となった。市役所内の会場で、名前が読み上げられると奥田さんは立ち上がり、緊張した面持ちで森雅志市長から辞令を受け取った。

森市長があいさつで「はじめはスモールステップ(小さな一歩)でもいい。いつも自分を磨くことを忘れずスキルアップしてほしい」と呼び掛け、奥田さんは口を固く結んで聞き入っていた。

福祉保健部保険年金課に配属が決まった奥田さんは「緊張しているけれど、頑張ります」と笑顔だった。(編者注:手術後クライストチャーチでテレビインタビューに応える奥田さんがとても positive(前向き)だったことが印象的でした。NZ人のようでしたね。)

2012年4月2日

戦車で車をグシャッ！ NZ 式ストレス発散法、あなたもいかが？

アドレナリン放出型アドベンチャースポーツの「本家」ニュージーランドのとある企業が、鬱憤の溜まったドライバーにお薦めの「ストレス発散サービス」を提供している。——戦車で自動車を踏み潰す、というものだ。



ニュージーランド南島クライストチャーチ (Christchurch) の企業「タンクス・フォー・エブリシング (Tanks for Everything)」が所有するのは、戦車 8 台に兵員輸送装甲車、ジープによる「一部隊」。最も大きな戦車にかかれば、ファミリーセダンなど甲高い金属音とガラスが粉々になる音を立てながら、まるでパンケーキのようにぺちゃんこに潰れてしまう。

「戦車で何かを押しつぶせば、抑えていたフラストレーションが発散されると思うよ。特に嫌なことがあった日なんか、ストレス発散に最高だ」と、同社オーナーのジョナサン・ラヒーニアリー (Jonathan Lahy-Neary) 氏。

イチ押しは 1970 年代初頭にベトナム戦争でオーストラリア軍が使用していた重量 52 トン、ロールスロイス (Rolls Royce) 社製 V 型 12 気筒エンジンの英国製戦車「センチュリオン (Centurion)」だ。

旧ソ連時代の T-55 戦車もある。青々としたニュージーランドの丘にはまるで不釣り合いな姿だが、同社のマシュー・サンドランド (Matthew Sandland) 氏によれば、ハンガリーの兵器ディーラーから驚くほど簡単に購入できるという。「イラク軍もアフガニスタン軍も保有していた戦車だ。ディーラーには 100 台以上あって、完全に実戦に使える状態で売っている。ニュージーランドに持ってくるために、わざわざ金を払って銃を使えないようにしたんだ。つまり基本的には、実戦可能な状態で誰でも購入できるということだ」

「アドベンチャーの国」でも前代未聞のアトラクション

ニュージーランドは「スリルを追い求める旅行者のメッカ」として自国をアピールしており、ラフティング、バンジージャンプ、ヘリスキーから、プラスチックのボールに入って斜面を転がり落ちるゾーピングなどを取り揃えて観光客を誘致している。タンクス・フォー・エブリシングの戦車たちは、年間 25 億ドル (約 2070 億円) 規模の利益を生み出す同国のアドベンチャー観光における「最新兵器」だ。

同国オタゴ大 (University of Otago) 観光学部のニール・カー (Neil Carr) 准教授は「アドレナリン・ツーリズムの行き先として、ニュージーランドは恐らくダントツ」で、それには同国の地形も味方しているだろうと指摘する。

タンクス・フォー・エブリシングの戦車の人気は特に男性の間で高いが、10 代から 80 代まで、申し込む人の年齢層は幅広いという。有名人ではラグビー・ニュージーランド代

表、通称オールブラックスのピリ・ウィーパー (Piri Weepu) やコンラッド・スミス (Conrad Smith)、米ロックバンド「スマッシング・パンプキンズ (The Smashing Pumpkins)」のサポートメンバーなどが体験している。気になる乗り心地はといえば、「ギア操作なんか慣れるのにちょっと時間がかかるけど、一旦コツをつかめば最高だよ」と体験者の 1 人。

まさに「究極の男のおもちゃ」といったところだが、安くはない。センチュリオンを 15 分間乗り回して 450NZ ドル (約 3 万円)、さらに地元廃車業者から仕入れた車をセンチュリオンで潰すと別途 395NZ ドル (約 2 万 7000 円) かかる。

ラヒーニアリー氏によれば戦車を購入するよりも、税関を通すほうが大変だった。戦車の個人輸入など前例がなく、警察も税関も同氏の申請をどう処理すべきか分からなかったのだ。戦車を非武装化しても、ラヒーニアリー夫妻が銃火器取扱い許可証を取るよう要請された。

許可証の試験場では、一緒に受験した地元猟師たちを戸惑わせた。「いかにも今すぐ茂みに突っ込んで何かを撃ってきます、といった風情の男がぞろぞろいてね。身長 157 センチの妻が座っていると彼らが聞くんだ。『どんな種類の銃を持っているの？』って。それで妻が『戦車よ』って答えると、連中は沈黙して、二度と言葉を発しなかったね」

2012 年 03 月 29 日

迫力あるクラウンプラザホテル (旧パークロイヤル) の解体

今日カジノで朝食を食べたあと、今取り壊し中のクラウンプラザホテルを見てきたよ。



もう残り3分の1位…

大きなコンクリートの塊が落ちてくる度にすごい音が響き渡って、煙を上げてた。(编者より: 会員でこのホテルに泊った方も多いですね)

ブログ「クライストチャーチ最高」より 4月21日

運転ルール変更

これまで 35 年に及び右折優先であった運転ルールに変わり、3 月 25 日より左折優先になった。

交通省(NZTA)によれば、毎年 1 万 6 千以上が交差点での衝突事故が発生しているが、左折優先にすることで約 7%衝突事故が軽減されると予想され、毎年 1 命と 97 傷(重傷、軽傷含む)減る計算となる。

実際にオーストラリアのビクトリア州では、同じようなギブウェイルールを 1993 年に導入したことで 7.1%軽減されたという。この変更は、インターネットや TV、パンフレットを通して 1.2 ミリオンドルを費やして呼びかけていた。

日本語による左折ルールの詳細は
<http://www.nzta.govt.nz/resources/give-way-leaflet/docs/japanese.pdf>

NZ大好き 2012 年 3 月 26 日

クライストチャーチ海外留学生激減

クライストチャーチの海外留学生の人口数が劇的に落ちている。

クライストチャーチ市にあるカンタベリー大学では、海外留学生の入学人数が 2010 年は 1267 名、昨年は 937 名、今年はこれまで 753 名であり、今年末までには 879 名まで伸ばしたいとしているものの、それでも年間に \$8 ミリオンドル売上げ低下が見込まれるという。

海外留学生は高額な学費を支払いをするので、影響は非常に大きいといえるが、カンタベリー地震による影響により海外留学生が学習の場所としてクライストチャーチを選びづらくなっているのは明らかだ。

高等教育相の Steven Joyce 氏によれば、クライストチャーチ以外の地域で学ぶ海外留学生数は 6%上昇しており、学費収入も 3.3%まで上がっているとのこと。

NZ大好き 2012 年 3 月 31 日

グッドフライデーの営業法

6 日のグッドフライデーには 22 の店舗が、営業法違反で摘発された。

店舗営業時間法に基づくと、ほとんどの店舗はグッドフライデーとイースターサンデーは、営業が禁じられている。違法に営業した小売店は 1,000 ドル以内の罰金が課せられる。例外は、レストラン、カフェ、コンビニエンスストア、土産物屋、免税店、薬局など。

昨年もほぼ同様の違反店舗があり、政府の担当者は結果に失望していると感想を述べ、法律を無視している店には罰金以上の罰が課せられるべきであると発言した。

ATM 詐欺被害、警告注意

スキミングという銀行カードの番号と暗証番号を盗み取り、顧客口座から現金を引き出すという詐欺被害が多発している。

このイースターホリデーの週末は 30 人以上の BNZ 銀行顧客からコールセンターへ電話があり、カナダの ATM 支払機から勝手に自分の口座のお金が引き出されていることが報告された。同じくウエストパックの顧客も同様の被害報告があるため、特定の銀行が対象ではないようだ。

先月末にはパーネル、ポンソンビー、タカプナ、オレワ、ホーイク等オークランド全域の ATM 機で合計 1 ミリオンドル以上に上るスキミング被害があり約 500 人が詐欺にあっている。現金の引き出し元はタイのバンコクだったり、南アメリカなど海外ばかりだ。

警察では海外の詐欺業者と提携している悪質な犯罪であり。新たな詐欺の手口として、調査に乗り出している。

NZ大好き 2012 年 4 月 12 日

NZ のファーストフード事情

人々の健康促進を調査しているカナダ企業 Canada Medical Association Journal が世界 6 カ国(カナダ、オーストラリア、フランス、ニュージーランド、UK、USA)にあるバーガーキング、マクドナルド、KFC 等のファーストフードチェーンを対象にハンバーガー等の含有量を調べた。

その結果、ニュージーランドのファーストフードが UK のそれよりも平均 8%程、フランスに対しては 18%も塩分の含有量が多かったことが明らかになった。

塩分の過剰摂取は高血圧の原因や健康上に悪影響をもたらすが、同じファーストフードでも、日本やフィンランド、アイルランドでは塩分控えめのファーストフード販売を手がけており、ファーストフード業界における課題は続くようだ。

NZ大好き 2012 年 4 月 20 日

外務省プレスリリース

日・ニュージーランド外交関係樹立 60 周年に際しての首脳祝賀書簡の交換

平成 24 年 4 月 24 日

1. 本年は、我が国とニュージーランドが 1952 年に外交関係を樹立して以降、60 周年の節目の年に当たります。本 24 日(火曜日)、野田佳彦内閣総理大臣とジョン・キー・ニュージーランド首相(The Rt Hon John Key, Prime Minister of New Zealand)との間で 60 周年に際する祝意を伝える書簡を、玄葉外務大臣とイアン・ケネディ駐日ニュージーランド大使(H. E. Ian Kennedy,

Ambassador of New Zealand to Japan) との間で交換しました。

野田首相のメッセージ

2. 書簡交換の際、玄葉大臣からケネディ大使へ、我が国とニュージーランドとの外交関係樹立 60 周年への祝意を述べた後、今後の両国関係の更なる強化を確認するとともに、ニュージーランド政府代表も参加予定の 5 月 25 日（金曜日）及び 26 日（土曜日）に沖縄県で開催する第 6 回太平洋・島サミットへの協力を依頼しました。これに対し、ケネディ大使から、ニュージーランドにとって日本との関係は重要であり、60 周年は記念すべきこと、書簡交換を行えるのは喜ばしいとの発言がありました。
3. 野田総理大臣書簡では、我が国とニュージーランドとの外交関係樹立 60 周年を共に喜ぶとともに、これまでの重層的な人や文化の繋がりを築いてきた両国は、普遍的価値を共有するパートナーとして、世界の平和と繁栄に貢献してきており、この節目を契機として、引き続き、両国関係を更に強化させていくことに言及しています。
4. 本年は年間を通じ、日本とニュージーランド双方において、幅広い記念事業や交流が活発に行われる予定であり、我が国とニュージーランドとの友好・協力関係がより一層緊密化することが期待されます。

参考 1：我が国とニュージーランドとの外交関係樹立
我が国との関係は、1928 年にニュージーランドとの間で「通商関税航海関係暫定取極」を締結し、1938 年にウェリントンに領事館を設置。正式な国交は、在京公使館設置に関する 1952 年 3 月 4 日付在京 NZ 使節団発口上書及び我が国外務省発同 3 月 11 日付口上書の交換、同 4 月 10 日のニュージーランドによる対日講和条約批准書寄託等を経て、1952 年 4 月 28 日のサンフランシスコ講和条約発効をもって開設。

参考 2：第 6 回太平洋・島サミット

(1) 太平洋・島サミットは、太平洋島嶼国・地域が直面する様々な問題について首脳レベルで率直に意見交換を行うことによって、緊密な協力関係を構築し、日本と太平洋島嶼国の絆を強化するために、1997 年から 3 年に一度開催されている首脳会議。

(2) 第 6 回太平洋・島サミットは 5 月 25 日及び 26 日、沖縄県宮古島及び名護において開催。太平洋島嶼国 14 カ国・地域の首脳並びにニュージーランド、オーストラリア及び米国の政府代表が参加予定。

ニュージーランドと日本国との外交関係樹立六十周年を共に喜びたいと思います。

両国の外交関係は、六十年前の一九五二年四月二十八日のサンフランシスコ講和条約発効をもって始まり、貴国は、アジアで初めての在外公館を我が国に開設し、我が国も貴国に公使館を開設しました。

その後、両国は友好関係を深め、貿易、観光の拡大のみならず、現在では三万名を超える日本語学習者、四十二にものぼる姉妹都市交流等を通して、両国は重層的な人や文化の繋がりを築いてきました。

貴国と我が国は、アジア太平洋地域において民主主義等の普遍的価値を共有するかけがえのないパートナーとして、アジア太平洋経済協力（APEC）や東アジア首脳会議（EAS）等の様々な地域的枠組みを通じ協力を深めております。これにとどまらず、開発援助、環境等の地球規模問題への対応を通じて国際社会全体の平和と繁栄に、共に大きな貢献をしています。アフガニスタンや太平洋島嶼地域での貴国と我が国との協力は、その最近の協力の好例です。

このように幅広くかつ深みのある友好関係を築いてきた両国は、昨年、わずか十八日の間にともに大地震に見舞われるという筆舌に尽くし難い困難を共有しました。クライストチャーチ地震発生後、すみやかに我が国緊急援助隊がニュージーランドに到着し、被災者の捜索救助のために力の限りを尽くしました。東日本大震災においては、クライストチャーチで連日懸命な活動を続けた貴国救助隊が、直ちに我が国に駆けつけ、最も甚大な被害を受けた地域の一つである宮城県南三陸町において、支援活動を展開されました。二つの震災において示された相互支援は、これまで両国間で積み重ねられてきた、幾多の交流の結晶と言えるでしょう。

両国の外交関係樹立六十周年を記念して、ニュージーランドのシンボル、シルバーファーンと折鶴から成るロゴが選定されました。折鶴は平和への祈りを意味します。また、鶴は、我が国において長寿の象徴でもあります。共に震災からの復興に励むなか、両国の歴史に刻まれる日を迎えることとなりました。

太平洋を隔て、地理的には遠く離れているにも拘わらず、貴国と我が国との間には数々の共通点があることに驚かされます。まず、緑豊かな、そして形も少し似ている島国であることに気づきます。その他にも、慎み深く勤勉な人々、木造建築、温泉など、我が国との共通点を知る度に、貴国への親近感を覚えます。

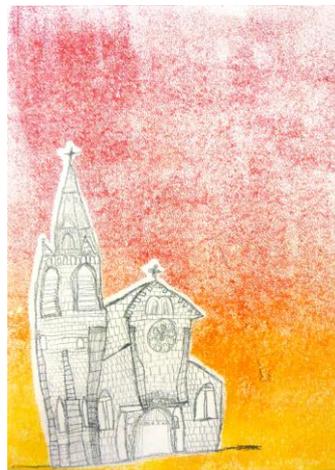
このような、日本とニュージーランドとの協力・友好関係は、一朝一夕に成し遂げられたものではなく、貴国と我が国との六十年間の歩みを通じて育まれてきたことに思いを馳せずにはられません。今後とも、貴国と我が国とが互いに手を携えて、末永く平和を享受して繁栄し、発展することを願って止みません



総会の風景



総会で柳田名誉会長に感謝状贈呈



大聖堂を記憶に留めるため描いた子供たちの絵



片波見さんから送られてきた今のクライストチャーチの写真



カンタベリー・ジャパン・デイの風景

